

多文化共生防災シンポジウム

■ 日 時 平成28年11月26日（土）13時～16時（12時受付開始）

■ 会 場 太田市役所 南庁舎3階 大研修室（太田市浜町2-7）

※ 太田市役所駐車場をご利用ください

■ 参加無料（定員100名・どなたでも御参加いただけます）

※ 手話通訳がつきます **申込期限：11月18日（金）**

I. 基調講演

■ テーマ 災害時の外国人支援 ～実践から考える課題と可能性～

■ 講 師 田村 太郎 氏（NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事）



【田村太郎氏略歴】

兵庫県伊丹市生まれ。阪神・淡路大震災で被災した外国人へ情報を提供する「外国人地震情報センター」の設立に参加。1995年10月「多文化共生センター」への組織変更に伴い事務局長に就任、2004年3月まで同センター代表を務めた。

（一財）自治体国際化協会参事（2005年度）、総務省「地域における多文化共生推進研究会」構成員（2005～2006年度）、（一財）ダイバーシティ研究所代表（2007年～現職）等を経て、2009年に「NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会」代表理事。

また、東日本大震災を受けて内閣官房企画官に就任し、被災地のニーズ把握や震災ボランティア促進のための施策立案にも携わる。2012年2月より復興庁上席政策調査官、2014年4月より同復興推進参与（非常勤）。

明治大学大学院兼任講師、関西学院大学非常勤講。

主な著書：『つないで支える』共著/2012/亜紀書房

『好きなまちで仕事を創る』共著/2005/T0ブックス

『多文化共生キーワード事典』共著/2004/明石書店

II. パネルディスカッション

■ テーマ 外国人住民とともに築く「災害に強いまちづくり」

■ コーディネーター 田村 太郎 氏（NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事）

■ パネリスト マヘソル リサル 氏（海外在住ネパール人協会群馬支部 会長）

坂本 裕美 氏（NPO法人多文化共生ぐんま 群馬県多文化共生推進士）

奈良 与志則 氏（NPO法人日本防災士会群馬県支部 副支部長）

柴垣 禎 氏（NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会 理事）

＜お申し込み・お問い合わせ先＞

◆群馬県生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課

電話：(027) 226-3396 ファックス：(027) 220-4424 メール：jinkenka@pref.gunma.lg.jp

◆太田市企画部交流推進課

電話：(0276) 47-1908 ファックス：(0276) 48-1012 メール：005430@mx.city.ota.gunma.jp

主催：群馬県・太田市

後援：（公財）群馬県観光物産国際協会・太田市国際交流協会

パネリストプロフィール



マヘソル リサル 氏 海外在住ネパール人協会群馬県支部 会長

僕は14年間日本に住んでいます。来日後、10年間は自分のことで精一杯でしたが、今では「海外在住ネパール人協会群馬県支部」の会長として活動しております。困っている方たちをできる範囲で助けています。国籍を問わず外国人の仲間の力になるために、知識を身につけたいという思いでいっぱいです。「みんながみんなのためになる」という考え方を持っていて、日本の皆さんと交流を深めて災害時に助け合うことは最もよいことだと思います。災害時に何をすればよいのか、どうやって情報を得るのか、少しでも習っておきましょう。



坂本 裕美 氏 NPO法人多文化共生ぐんま 群馬県多文化共生推進士

ブラジル生まれの日系2世。ブラジルでは、日本語教師。日本では、長野県にてJETプログラムの国際交流員。その後、在日ブラジル人学校で、教員。群馬大学「多文化共生推進士」養成ユニットを修了し、2015年に多文化共生推進士として群馬県から認定される。現在、太田市立旭小学校にてバイリンガル教員。「ポルトガル語の会 Vamos Papear」にて、母語保持と学習支援教室のコーディネーターとして実践活動中。



奈良 与志則 氏 NPO法人日本防災士会群馬県支部 副支部長

2006年防災士を取得し、2008年日本防災士会群馬県支部に入会。2014年から日本防災士会群馬県支部副支部長となる。日本防災士会群馬県支部の主な活動としては、群馬県総合防災訓練へ団体参加。群馬県地域災害対応力養成事業の業務委託に基づき、災害図上訓練(DIG)、避難所運営訓練(HUG)を各地域において実施中。日本防災士会北関東連絡協議会(群馬、栃木、茨城)3県合同の事業に参加。自治会、小学校、その他団体からの防災講習等の依頼を受け、各地域で実施。



柴垣 禎 氏 NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会 理事

富山県職員。2007年の新潟中越沖地震時に外国人支援の活動に従事した経験から、(一財)自治体国際化協会の「災害多言語支援センター設置運営マニュアル」等の作成等に携わる。2009年から「NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会」理事として、全国各地で災害時の外国人支援の人材育成に努める。2011年2月に発生したニュージーランド地震では、邦人被災者のヘルスケアを支援。2011年3月に発生した東日本大震災では、発生当日に多言語支援センターを設置し、10言語による災害情報を発信。2011年6月より(一財)ダイバーシティ研究所の客員研究員として活動し、同年9月には、富山でのダイバーシティの推進のため、「NGOダイバーシティとやま」の設立を支援。

多文化共生防災シンポジウムFAX申込書 **申込期限：11月18日(金)**

※送信票は不要です。このまま送信してください。

群馬県生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課 あて

(FAX 027-220-4424)

太田市企画部交流推進課 あて

(FAX 0276-48-1012)

- ・下記に必要事項をお書きの上、お申し込みください。
- ・複数名でお申込みの場合はそれぞれお書きください。
- ・手話通訳が必要な場合は席を確保いたしますので、備考欄にご記入ください。
- ・当日は、太田市役所駐車場をご利用ください。

※個人情報はこのシンポジウムの目的にだけ使用します。



氏名	住所	電話番号	備考(手話通訳の必要の有無等)